

I 全国・東北の景気動向

1. 業況判断D I の推移（中小企業・小企業）

①全業種計

	21.7-9	21.10-12	22.1-3 見通し
中小企業	1.0	3.3	10.8
小企業	▲51.6	▲39.1	▲47.7

②製造業

	21.7-9	21.10-12
中小企業	14.0	12.9
小企業	▲40.2	▲29.8

③非製造業

	21.7-9	21.10-12
中小企業	▲6.6	▲2.4
小企業	▲53.6	▲40.8

資料：(株)日本政策金融公庫

2. 業種別業況判断D I の推移（小企業）

※（1-3 については見通し）

①卸売業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲47.4	▲35.1	▲45.3

②小売業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲58.3	▲47.9	▲54.1

③飲食店・宿泊業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲82.9	▲48.9	▲57.5

④サービス業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲47.9	▲42.4	▲49.6

⑤情報通信業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲34.0	▲37.2	▲44.7

⑥建設業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲22.4	▲18.5	▲31.9

⑦運輸業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲48.8	▲41.6	▲48.3

資料：(株)日本政策金融公庫

3. 東北業況判断D I の推移（小企業）

21.7-9	21.10-12	22.1-3 見通し
▲44.5	▲35.5	▲52.6

資料：(株)日本政策金融公庫

※業況判断D I

景気が良いと答えた企業の割合から、悪いと答えた企業の割合を引いた数値。

○小企業の景況は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる。情報通信業を除く全ての業種で 2021 年 7-9 月期に比べ 10-12 月期でマイナス幅が縮小したものの、2022 年 1-3 月期はマイナス幅が拡大する見通しとなっている。

中小企業の業況判断D I は 2021 年 10-12 月期においては前期に比べ製造業ではプラス幅が減少、非製造業ではマイナス幅が縮小し、全体でみるとプラスの状況であり、2022 年 1-3 月期ではさらにプラス幅は上昇する見通しである。しかしながら、中小企業と小企業とで大きな差がある。

地域別に見ると、小企業の業況判断D I は 2021 年 10-12 月期においては前期に比べ全ての地域でマイナス幅が縮小したが、2022 年 1-3 月期はマイナス幅が拡大する見込みであるのに対し、中小企業の業況判断D I は 2021 年 10-12 月期においては北海道・東北を除いて上昇し、来期は全ての地域で上昇する見込みとなっている。

Ⅱ 宮城県内の景気動向

- ・調査時点 2021年12月中旬
- ・調査対象 145企業
- ・有効回答数 109企業
- ・有効回答率 75.2%

<業種構成>

	調査対象	有効回答数
製造業	18企業	17企業
卸売業	19企業	13企業
小売業	35企業	26企業
飲食店・宿泊業	17企業	14企業
サービス業	33企業	21企業
情報通信業	2企業	2企業
建設業	16企業	11企業
運輸業	5企業	5企業

資料：(株)日本政策金融公庫

1. 業況判断D I の推移（全業種計）

	21.7-9	21.10-12	22.1-3 見通し
宮城県	▲43.3	▲38.5	▲55.0
全国	▲51.6	▲39.1	▲47.7

資料：(株)日本政策金融公庫

○今期の業況判断D I（全業種計）は、前回調査（21.7-9月期）に比べてマイナス幅が4.8ポイント縮小し、▲38.5となった。来期（22.1-3月期）については、マイナス幅が拡大し▲55.0となる見込みである。

○業種別にみると、製造業（0.0→▲5.9）はマイナス幅が拡大し、非製造業（▲50.5→▲44.6）ではマイナス幅が縮小した。非製造業を構成する大分類業種のうち、卸売業（▲42.1→▲38.5）、小売業（▲58.6→▲46.2）飲食店・宿泊業（▲82.4→▲50.0）、建設業（▲36.4→▲27.3）でマイナス幅が縮小した一方、サービス業（▲23.1→▲42.9）ではマイナス幅が拡大した。

なお、来期（1-3月期）は全ての業種でマイナス幅が拡大となる見込みである。

２．業況判断D I の推移（業種別）

※（1-3 については見通し）

①製造業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
0.0	▲5.9	▲35.3

②非製造業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲50.5	▲44.6	▲58.7

③卸売業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲42.1	▲38.5	▲61.5

④小売業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲58.6	▲46.2	▲53.8

⑤飲食店・宿泊業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲82.4	▲50.0	▲78.6

⑥サービス業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲23.1	▲42.9	▲57.1

⑦建設業

21.7-9	21.10-12	22.1-3
▲36.4	▲27.3	▲36.4

資料：(株)日本政策金融公庫

３．売上D I の推移（全業種計）

	21.7-9	21.10-12	22.1-3 見通し
宮城県	▲39.3	▲34.0	▲35.0
全 国	▲43.1	▲28.6	▲32.4

資料：(株)日本政策金融公庫

○今期の売上D I（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が 5.3 ポイント減少し、▲34.0 になった。

○来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。

4. 採算D I の推移（全業種計）

	21.7-9	21.10-12	22.1-3 見通し
宮城県	▲36.5	▲33.9	▲46.8
全 国	▲39.2	▲29.8	▲35.3

資料：(株)日本政策金融公庫

○今期の採算D I（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が 2.6 ポイント減少し、▲33.9 となった。

○来期は、マイナス幅が拡大する見通しである。

5. 資金繰りD I、借入D I の推移（全業種計）

	21.7-9	21.10-12	22.1-3 見通し
資金繰り DI（宮城県）	▲31.7	▲25.0	▲40.7
借 入 DI（宮城県）	▲8.8	▲8.8	—
資金繰り DI（全国）	▲31.2	▲21.8	▲34.8
借 入 DI（全国）	▲15.1	▲15.3	—

資料：(株)日本政策金融公庫

○今期の資金繰りD I（全業種計）は、前回調査からマイナス幅が 6.7 ポイント減少し▲25.0 となった。しかしながら、来期はマイナス幅が拡大する見通しである。

○民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入D I は、前回調査と同じ▲8.8 となった。

6. 経営上の問題点の推移（全業種計、上位 4 項目）

	21.4-6	21.7-9	21.10-12
売 上 不 振	51.4	52.0	49.5
利 益 減 少	20.6	15.7	22.0
求 人 難	7.5	13.4	10.1
設備老朽化等	4.7	2.4	3.7

資料：(株)日本政策金融公庫

○当面の経営上の問題点（全業種計）をみると、「売上不振」が 49.5%と依然として最も多く、次いで「利益減少」（22.0%）、「求人難」（10.1%）の順となっている。

7. 設備投資実施企業割合の推移（全業種計）

	21.4-6	21.7-9	21.10-12
宮 城 県	8.3	11.2	10.2
前年同期実績との差	-0.4	1.3	-0.5
全 国	13.5	14.2	15.1

資料：(株)日本政策金融公庫

○設備投資実施企業割合（全業種計）をみると、前回調査から 2.9 ポイント上昇し、11.2%となった。

Ⅲ 利府町、松島町 観光客入込数・宿泊観光客数

1. 観光客入込数

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
利府町	1, 578, 849	1, 495, 313	1, 679, 551	1, 597, 778	736, 635
松島町	2, 768, 840	2, 746, 785	3, 054, 759	2, 981, 516	1, 607, 172

資料：利府町産業振興課商工観光班、（一社）松島観光協会

2. 宿泊観光客数

	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和元年	令和 2 年
利府町	26, 487	25, 987	24, 665	24, 253	6, 652
松島町	643, 331	609, 156	600, 052	569, 645	340, 361

資料：利府町産業振興課商工観光班、（一社）松島観光協会

参考

松島町 観光客入込数・宿泊観光客数（令和 3 年）

	令和 3 年
観光客入込数	1, 239, 155
宿泊観光客数	242, 390

資料：（一社）松島観光協会

利府町 観光客入込数・宿泊観光客数（令和 3 年）

	令和 3 年
観光客入込数	1, 175, 698
宿泊観光客数	6, 621

資料：利府町産業振興課商工観光班